

## 「めざせ！つながる地域（地域包括ケアシステム）」

### ～高齢者見守りネットワークとチャレンジ絆について～

今年で10回目の節目を迎えるネットワーク研修会は、「めざせ！つながる地域」と題し、御所市高齢対策課の協力のもと、高田警察署生活安全課の奥井栄治警部補を講師に迎え開催させて頂きました。

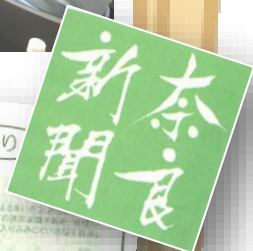
当日は、行政や各施設・事業所、地域の方など多数のご参加を頂きました。

初めに、御所市高齢対策課の西村課長より、最近発生している事件から「見守り力の高い街作りが必要です。」との挨拶がありました。

奥井警部補は、先ず「御所市は、子供の見守り活動は昔から行われており、今も継続していることから見守り力の高い町です。」と話され、その上で「刑法犯の件数は年々減少してきているが、空き巣や特殊詐欺は逆に増えてきている。特殊詐欺の被害に合われた方の8割が65歳以上の高齢者です」と現状を伝えられました。

そして、「被害に合われた高齢者の7割が女性で、多くが独居、高齢者世帯であり、被害に合われた8割の方が自分は被害に合わない自信があると答えている。」「逆に被害を防げたケースとして、普段から家族と会話をしていたり、家族や周りの人に相談したことによって被害を免れたことから、声を掛けるだけで被害は減少できる。」と“つながり”の大切さを伝えられました。また、地域においては、ネットワークの構築が必要であり、各地区での「チャレンジ絆」の状況について、「参加地区は増えており、実施している地区の犯罪発生状況は減少している。」「あいさつ、声かけを行うことで、地域コミュニティが再構築され住民同士の希薄さが解消されつつあり、見守りが強化されたり犯罪防止に繋がっている。」と伝えられました。

今回の研修会では、挨拶や声かけをきっかけに地域交流や繋がりを深めることが、地域包括ケアシステム構築への第一歩であることを参加者の皆様と共有することが出来ました。



○：御所市池之内の  
鴻池荘在宅介護支援セ  
ンターは、同所の鴻池  
会研修棟で、高齢者を  
つたし写真。  
○：研修会では、高  
たしている話した。



田  
署生活安全課の奥井  
栄治さんが「高齢者見  
守りネットワークとチ  
ャレンジ絆」と題して  
警察の地域見守り活動  
を報告。特殊詐欺や空  
き巣被害を防ぐ心構え  
などを話した。  
○：奥井さんは特殊  
詐欺の被害者の8割以  
上が65歳以上で、その  
多くが誰にも相談しな  
かったり、引つから  
ない自信があったこと  
などを紹介。「家族や  
知人との会話が、詐欺  
に気付かせる役目を果  
たしている」と話した。